



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月9日

上場会社名 大平洋金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5541 URL https://www.pacific-metals.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松山 輝信 (TEL) 03-3201-6681  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,217	△61.2	△3,292	—	△1,417	—	△1,566	—
2023年3月期第1四半期	10,857	△3.7	1,509	936.2	3,676	176.9	3,283	190.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △1,508百万円( —%) 2023年3月期第1四半期 2,650百万円( 41.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△80.35	—
2023年3月期第1四半期	168.36	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	76,697	70,525	91.6
2023年3月期	78,825	72,034	91.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 70,238百万円 2023年3月期 71,746百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,592	△51.3	△6,343	—	△3,712	—	△3,871	—	△198.49
通期	20,885	△40.1	△7,089	—	△2,891	—	△3,246	—	△166.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	19,577,071株	2023年3月期	19,577,071株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	75,090株	2023年3月期	75,035株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	19,502,026株	2023年3月期1Q	19,502,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源高及びドル高の同時進行は物価上昇を招き、経済活動への影響は懸念されるものの、企業収益・個人消費等は堅調に推移しており、景気は緩やかに回復傾向となりました。

海外経済については、世界的な金融引き締め、ウクライナ情勢の長期化及びインフレ加速等の影響が懸念され一部の地域において弱さは見られるものの、概ね雇用・所得環境等は堅調に推移しており、持ち直しの見られる推移となりました。

このような状況のもと、当社グループの売上高並びに損益の大半を占めるニッケル事業の主需要先であるステンレス鋼業界は、中国では景気刺激策実施の期待感から稼働率は回復傾向にあるものの、期待値先行で実需の動きは弱く、また、ウクライナ情勢の長期化は市況全体の不透明感を増しており、総じて生産設備の稼働率にばらつきが見られ盛り上がりの欠く推移となりました。

このため、フェロニッケル需要は、鈍化傾向で推移しました。

調達面においては、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の価格は、インドネシア未加工鉱石禁輸政策による影響及び底堅いニッケル鉱石需要等を背景に価格高であり、また、諸原燃料価格は、世界的な資源高により電力の価格も含めて高水準にあり、生産コストが上昇する状況となりました。

ロンドン金属取引所(LME)におけるニッケル価格は、一定のレンジで推移しておりますが、中国の景気回復の遅れ、外国為替相場や金融資本市場の変動及びウクライナ情勢等といった複合的な要因等が意識され、やや弱含みの推移となりました。

その中で、当社のフェロニッケル販売数量は、前述した環境に加え、海外ステンレス生産者は価格優位性が見られるニッケル銑鉄へ一部調達をシフトしており、ニッケル銑鉄の価格は当社の販売価格へも影響する環境となっていること等から、一定の収益性を損なわない戦略的な数量抑制方針は継続したため、前年同四半期と比べ国内外向けともに減少し、全体では前年同四半期比57.0%の減少となりました。

フェロニッケル生産数量は、前述のとおり販売数量抑制方針であるため、前年同四半期と比べ減少しました。

フェロニッケル製品の販売価格は、当社適用LMEニッケル価格は前年同四半期比0.4%上昇及び当社適用平均為替レートは前年同四半期比7.5%の円安となり、前年同四半期比で適用相場は上昇しました。一方で、前述のとおり、当社適用LMEニッケル価格と当社適用平均為替レートに加えて、ニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準としていることから従来と比べ販売価格安となり、収入が伸び悩む厳しい販売環境が継続しました。

このように、事業環境が急変しており、ウクライナ情勢等の影響は今後も継続するものと考えられますが、採算性重視の受注を徹底し、臨機応変な生産販売体制の構築等に努めております。さらには、海外事業展開・新規鉱山開発等の早期実現及びコストミニマムを追求するための業務効率改善策の強化等、業績の底上げ及び収益安定化に向けた取り組みを継続しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、連結売上高が4,217百万円、前年同四半期比では61.2%の減収となりました。損益面では、減収要因に加え、棚卸資産の収益性低下による簿価切下げ額の計上に伴う売上原価の増加等もあり営業損失は3,292百万円(前年同四半期営業利益1,509百万円)、営業外収益において持分法による投資利益1,245百万円の計上等を含めた経常損失は1,417百万円(前年同四半期経常利益3,676百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,566百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純利益3,283百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①ニッケル事業

ニッケル事業についての経営成績は、「(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおりであります。

その結果、当部門の売上高は4,042百万円、前年同四半期比62.2%の減収、営業損失は3,292百万円(前年同四半期営業利益1,624百万円)となりました。

#### ②ガス事業

ガス事業についての経営成績は、設備修繕に伴う費用計上等もありましたが安定した操業で、利益計上となりました。

その結果、当部門の売上高は196百万円、前年同四半期比19.1%の増収、営業利益は2百万円(前年同四半期営業損失31百万円)となりました。

#### ③その他

その他の事業部門では、不動産事業での販売成約等はなかったため、損失計上となりました。

その結果、当部門の売上高は零(前年同四半期売上高16百万円)、営業損失は5百万円(前年同四半期営業損失86百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの資産、負債及び純資産は、次のとおりであります。

資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,128百万円減少し、76,697百万円となりました。

流動資産では、計画的な在庫数量の調整により商品及び製品は増加しましたが、電力会社の冬の節電チャレンジキャンペーン参加による電力使用量削減の特典である受取報奨金が入金及び未収消費税等の還付に伴いその他に含まれる未収入金の減少等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ3,298百万円の減少となりました。

固定資産では、維持更新投資より減価償却費が多かったため有形固定資産は減少しましたが、持分法による投資利益の増加に伴う投資有価証券の増加等により、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ1,169百万円の増加となりました。なお、当社の投資有価証券26,694百万円の主な内訳は、持分法適用による連結額17,767百万円、関連会社株式2,378百万円、フィリピンの株式市場へ上場している当社持分法適用関連会社のホールディングカンパニーNickel Asia Corporation株式5,988百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ620百万円減少し、6,171百万円となりました。

流動負債では、支払手形及び買掛金の決済等による減少もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ643百万円の減少となりました。

固定負債では、工事費用の検収による復旧費用引当金の減少等はありませんでしたが、持分法による投資利益の増加に伴う繰延税金負債の増加等もあり、その他の要因も含め前連結会計年度末に比べ23百万円の増加となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,508百万円減少し、70,525百万円となりました。

株主資本は、損失計上等により1,567百万円の減少、その他の包括利益累計額は為替換算調整勘定の増加等により58百万円の増加及び非支配株主持分0百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、ウクライナ情勢の長期化は国内外の景気へ引き続き影響を及ぼしており、また、欧米の急激な利上げ及び中国の景気回復遅れ等を背景とした景気の減速感、経済の先行きをより不確実性の高いものとしております。

当社において、数量面については、環境は大きく変わらず、前回公表計画と同程度を見込んでおります。

損益では、販売価格面では、当社適用LMEニッケル価格と当社適用平均為替レートに加えフェロニッケル製品と比べ価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準としており、また、調達価格面では、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準に推移しており、価格面で大きな影響を与えることが見込まれます。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額の影響について、上期は追加計上の一方、下期では簿価切下げ額の縮小で戻入れ額が発生することにより、上期と下期の損益傾向は異なることが見込まれます。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

以上から、2023年8月2日「営業損失(棚卸資産の簿価切下げ額)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上及び業績予想修正に関するお知らせ」において、連結業績予想を次のとおり修正し、併せて前提条件につきましても見直しております。

《参考》

## 【業績予想の修正】

2024年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2023年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2023年5月9日発表)	百万円 8,910	百万円 △4,198	百万円 △2,937	百万円 △2,961	円 銭 △151.83
今回修正予想(B)	8,592	△6,343	△3,712	△3,871	△198.49
増減額(B-A)	△318	△2,145	△775	△910	
増減率(%)	△3.6	—	—	—	
(参考)前第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	17,642	△4,464	605	229	11.75

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2023年5月9日発表)	百万円 20,899	百万円 △7,299	百万円 △4,569	百万円 △4,778	円 銭 △245.00
今回修正予想(B)	20,885	△7,089	△2,891	△3,246	△166.44
増減額(B-A)	△14	210	1,678	1,532	
増減率(%)	△0.1	—	—	—	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	34,852	△12,588	△4,960	△5,026	△257.75

## 【前提条件の修正】

	販売数量(t)			生産数量(t)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2023年5月9日発表)	3,450	4,750	8,200	3,543	3,540	7,083
今回修正予想	3,330	4,870	8,200	3,428	3,540	6,968
(参考)前期実績 (2023年3月期)	5,668	6,725	12,393	8,079	5,301	13,380

	適用LMEニッケル価格(\$/lb)			適用為替(¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2023年5月9日発表)	10.68	10.00	10.29	134.06	134.10	134.08
今回修正予想	10.82	10.00	10.33	135.34	134.10	134.60
(参考)前期実績 (2023年3月期)	12.12	11.11	11.57	131.49	138.44	135.26

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,848	17,544
売掛金	6,593	5,520
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	8,204	8,428
仕掛品	361	306
原材料及び貯蔵品	5,836	5,548
その他	4,904	2,100
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,247	40,949
固定資産		
有形固定資産	8,383	8,335
無形固定資産	239	270
投資その他の資産		
投資有価証券	25,518	26,694
退職給付に係る資産	198	232
その他	243	219
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	25,954	27,141
固定資産合計	34,577	35,747
資産合計	78,825	76,697

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	760	354
未払費用	1,018	883
未払法人税等	7	26
賞与引当金	95	185
その他	657	447
流動負債合計	2,539	1,896
固定負債		
退職給付に係る負債	50	53
繰延税金負債	2,087	2,143
再評価に係る繰延税金負債	631	631
環境対策引当金	11	5
契約損失引当金	1,273	1,273
復旧費用引当金	187	142
その他	10	25
固定負債合計	4,252	4,275
負債合計	6,791	6,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,922	13,922
資本剰余金	3,481	3,481
利益剰余金	50,540	48,973
自己株式	△452	△452
株主資本合計	67,491	65,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,831	3,630
土地再評価差額金	593	593
為替換算調整勘定	△510	△243
退職給付に係る調整累計額	340	333
その他の包括利益累計額合計	4,254	4,313
非支配株主持分	287	287
純資産合計	72,034	70,525
負債純資産合計	78,825	76,697



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	10,857	4,217
売上原価	8,653	7,023
売上総利益又は売上総損失(△)	2,204	△2,806
販売費及び一般管理費		
販売費	292	89
一般管理費	402	396
販売費及び一般管理費合計	695	485
営業利益又は営業損失(△)	1,509	△3,292
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	237	165
不動産賃貸料	25	25
持分法による投資利益	1,197	1,245
為替差益	731	479
その他	25	19
営業外収益合計	2,221	1,941
営業外費用		
支払利息	0	0
棚卸資産処分損	-	30
外国源泉税	30	23
その他	23	12
営業外費用合計	54	67
経常利益又は経常損失(△)	3,676	△1,417
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	15	0
特別損失合計	15	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,661	△1,417
法人税、住民税及び事業税	249	4
法人税等調整額	141	144
法人税等合計	390	149
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,271	△1,567
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,283	△1,566

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,271	△1,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△809	△231
繰延ヘッジ損益	△157	-
退職給付に係る調整額	4	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	340	300
その他の包括利益合計	△620	58
四半期包括利益	2,650	△1,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,662	△1,507
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。